

## ソフトボールの宇津木 “監督” 妹背牛で「あそぼーる体験会」

女子ソフトボール元日本代表監督で、日本ソフトボール協会副会長の宇津木妙子さんを講師に招いた「あそぼーる体験会」（同協会主催）が10月18日、農業者トレーニングセンターで開かれました。宇津木さんのユニークな指導を受けながら、認定こども園妹背牛保育所の親子20組・38人がボール遊びを楽しみました。



元気いっぱい走る園児に、宇津木さんもセーフのジャッジ

ソフトボールの普及を目的に全国各地で開催している体験会。本年度から、保育園の年中・小学校低学年を対象に道内でも普及活動が始まり、空知管内では初めての開催となりました。

体験会は、ボール遊びの楽しさを身近に感じながら、体や頭の発達につながる内容。時折、園児たちの笑い声が響くユニークな指導法で、宇津木さんはコーンの先に置いた



宇津木さんからボールの打ち方を教わる園児

ボールの打ち方を分かりやすく教えました。同協会は、今後も園児たちにボール遊びを楽しんでもらおうと、妹背牛保育所にボールとバット、コーンを寄贈しました。

## 高齢者の知恵伝授 しめ縄作り



お年寄りからしめ縄の作り方を教わる児童

外部講師を招いた特色ある教育活動を公開する「地域参観日」が10月25日、妹背牛小学校で行われ、1～6年生の児童が「食育」「いのち」「国際交流」など他分野の授業に学びました。6年生は町内に住むお年寄りからしめ縄の作り方を教えてもらい、伝統文化を学習。このほかに、農協青年部の「食育教室」や深川市立病院の助産師による「いのちの授業」、NTT東日本の「メディア安全教室」なども開かれました。

## 京都の高校生 日帰り農業体験



ニンジンの収穫を体験する高校生

京都府立鴨沂（おうき）高校の2年生12人が10月27日、妹背牛町内の橋向農場（町内3区）で野菜の収穫を体験しました。北空知管内の農業者らでつくる「元気村・夢の農村塾」の受

け入れ事業。修学旅行で道内に滞在していた高校生が日帰りの農業体験を楽しみました。会員の橋向夫妻が、ビニールハウスの後片付けや野菜

の収穫方法をアドバイス。高校生たちは土の中からニンジンを出した後、新米のカレーライスをおいしそうに味わいました。

## アイヌ文化 授業で伝承



アイヌ民族に伝わる弦楽器の音色に  
目を傾ける児童

アイヌ民族の伝統や文化について学ぶ授業が11月2日、妹背牛小学校で開かれ、2、3年生が体験活動を楽しみました。講師は、アイヌ文化の伝承活動を続ける団体「中空知アイヌデビジョン」（砂川市）の吉村圭一郎さんと門別こずえさんの2人です。

児童は、動物たちと共生するアイヌ民族の暮らしぶりをペーパークラフトで表現。弦楽器や生活用具の紹介を受け、3年かけて作ったという貴重な衣服にも興味津々の様子でした。

## 新しい特産品はジンギスカン



妹背牛産米の米麴で漬けたジンギスカン

妹背牛町に新しい特産品が誕生しました。「妹背牛 塩ラムジンギスカン」で、12月から妹背牛温泉ペルの売店とフレッシュマーケットしんたにの2カ所で販売されるほか、ふるさと納税の返礼品にも追加されます。

妹背牛産米の米麴を使った二五八漬の素「米子ちゃん」で漬けたジンギスカン。流通量は国内で2%未満の希少なアイスランド産ラム肉を使用しています。

内容量は1袋200グラム。年末年始に向けて、家族団らんの食卓にどうぞ。

## ストーブの季節 火防査察



火災予防のリーフレットを郵便受け  
に投函する消防署員ら

「お出かけはマスク戸締り火の用心」を全国統一の防火標語とする「秋の火災予防運動」期間中の10月17日、市街地で火防査察が行われました。

消防庁舎で行われた出発式で、田中一典町長が「町民の皆さんに火災予防をアピールしてください」とあいさつ。妹背牛消防団の団員や深川消防署妹背牛支署の署員らが民家を回り、ストーブやガスコンロを使用する時の注意点や住宅用火災警報器の設置を呼びかけるリーフレットを配りました。

## 桂三段さんの独演会



巧みな話芸で聴衆を楽しませる桂三段さん

落語家・桂三段さんⅡ札幌市在住、帯広市出身Ⅱの独演会が11月6日、妹背牛町内の町民会館で開かれ、地域住民が質の高い伝統芸能を楽しみました。

教育委員会の社会教育事業「文化講演会」。

上方落語協会員の桂さんは、前職の歯科技工士に触れて「歯と関わりのない仕事を選んで『はなしか』（噺家）になりました」などと、軽快なトークを披露。巧みな話芸に会場からは拍手と笑い声が響き、最後の質問コーナーも盛り上がりました。